

コワーキングスペース_アンダーバーとの意見交換まとめ

- 1 日時 平成 28 年 11 月 16 日 (水) 13:00~15:00
- 2 場所 東北公益文科大学コワーキングスペース_アンダーバー内
- 3 参加者 コワーキングスペース_アンダーバー コンシェルジュ: 4 名、会員 1 名
(市側) 都市デザイン課 高橋課長補佐、本間主査、今井主事
図書館 永田主査、永森主査兼係長

<ライブラリーセンター他施設全般>

<図書館の利用について>

- ・公益大の学生の傾向は中央図書館より大学の図書館を利用している。
- ・大学の図書館は Web で蔵書の有無を確認できて便利だった。中央図書館は絵本が多いイメージ。
- ・中央図書館は研究分野の専門書が大学より充実しているためよく利用する。
- ・図書館よく利用する。仕事に関する本や趣味の本を借りる。自動貸出機あるし、思っていたより読みたい本もあるし発達していると感じる。学生のころは本を読まなかったが、社会人になってから、仕事や趣味の関係で知識を深めたくて読むようになった。
- ・子どもが小学生のころは夏休みに課題研究のために借りに行っていた。
- ・車がない学生 (3 年前は学生の半分以上が車所有) もいるため、1 度も利用したことない人もいると思う。ネットで買う人も多いと思う。
- ・レポートや論文を書くときに本を利用して情報収集や勉強をする。ネットに載っていることが正しい情報とは限らないので、本の方が信用性もある。

<人が集いたくなる場・居心地の良い空間について>

- ・木目調、カラフルな色使い、殺風景になりすぎないよう適度なモノの配置にしている。
- ・テーブルの形にこだわったり、カフェコーナーの場所を広めに確保したりなど、人が交流しやすいようなスペースや物の配置を意図的にしている。
- ・立地的にコワーキング目的で行かないと来ないが、駅前ならイベント等のついでに寄る流れができそうだし理想的。
- ・Wi-Fi、プリンタが自由に使えるのは大きい。レポート作成、プリントアウト、教授に提出までを大学構内で完結できる。利用していないころは、最寄りのコンビニまで印刷に行っていた。
- ・一人でいきなり利用するのはハードルが高いため、友人からの紹介制で利用始める人が多い。

<利用者が固定化、新規利用者の開拓について>

- ・コワーキング内は 20 人くらいのキャパ。人の出入りは割と激しくて新しい利用者はいる。現在、登録者約 100 人いるが、会費を払っている人はその内 50 人くらいで、実際に利用している人は 20 人くらい。
- ・ルールはないが、コワーキングのコンセプトを明確に打ち出しているのも、合わないと思った人は自然と来なくなる。コワーキングの使い方が違うなと思った人には、コンシェルジュが優しく注意する。
- ・お茶を飲みにくるだけでもいいが、あくまでチャレンジャーが集まる場所なので、いずれは目

標を持ってもらう。

<より多くの人に利用してもらえ施設にするには>

- ・図書館で借りて面白ければ本屋で買う。借りる→買う、の流れがあれば使いやすい。
- ・コンシェルジュをしているが、受付の中にいるだけでなく、特に、初めて来た利用者の人に話しかけるようにしている。利用者のニーズを常に聞き、利用者によって対応も柔軟に変えている。
- ・コワーキングで今考えているのは、マッチングカード。利用者がしたいこと(例:PCスキルつきたい)をカードに書き、それを助けられる人(PC詳しい人)がいたらカードに書いて教えるというのを考えている。
- ・利用者の個人の目標(長期)を書いて壁に貼り、応援カードを貼ってもらうこともしている。
- ・毎日決まった時間に利用者がお菓子を食べながら交流できる場を設けている。
- ・ポップに心をつかむキャッチコピーがあると読みたくなる。
- ・ホワイトボードやカフェのメニュー黒板みたいなものに企画展示の紹介をするのもいい。
- ・高校の授業で本を紹介する帯を作らせた。自己表現をするきっかけになる。
- ・利用者のおすすめ本の紹介コーナーがあるといい。自分がおすすめした本が借りられていればリピーターになる可能性ある。
- ・酒田市出身の人の本を置く。観光情報センターに置いてもいい。
- ・本格的でなくていいので、ヨガをしてもいいと思う。意外なことをすれば、こんなこともできるんだ、と利用者の心理的ハードル下がると思う。

<SNSの活用について>

- ・司書をHPに載せて、自分の得意分野や専門を明示しておくとうりしやすくなる。働いている人の顔が見えると行きやすい。
- ・コワーキングでは、Webページ、ツイッター(不定期投稿)、フェイスブック(毎日投稿)、インスタグラム(海外向けに英語で月1程度投稿)で発信している。フェイスブック以外は、決められた担当者が投稿する。
- ・コンシェルジュをWebで紹介している。塾や学校の先生、起業家の人もある。紹介ページみて、起業について詳しく聞きたい人がその人を目的にコワーキングに来ることもある。
- ・コンシェルジュをするのにフェイスブックへの登録は必須で、初めは実名がネットに出るのに抵抗があったが、今は投稿するのが日課になっている。掲載することでコワーキングの雰囲気がわかるし、利用しやすくなる。
- ・なぜかコワーキングのフェイスブックで投稿が多い週は利用者が多くなる。情報が多いと安心するのだと思う。
- ・司書がSNSに顔出しで、おすすめ本を紹介するページがあってもいい。

<その他出た意見、アイデア>

- ・貸出本ランキングの掲示
- ・DVDの充実
- ・託児サービス等、子連れで行ける場作り
- ・ハーバーラジオ(ラジオサークル)の設置

- ビブリオバトル（何人かがそれぞれおすすめの本をプレゼンし、どの本を読みたくなったか投票するイベント）の開催
- 本の作者のトークショーの開催
- 司書が利用者の調べ物の支援をする